



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <https://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第568号

2022年10月17日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

加齢性難聴者の補聴器購入に助成制度を

65歳以上の高齢者の半数は、加齢性の難聴と推定されています。それをカバーする補聴器の購入費は高く、平均約27万円にもなると言われています。今、自治体独自に補聴器の購入費を助成する制度が広がっています。

全国で50自治体を超え、千葉県内でも4自治体が補聴器購入に助成制度があります。浦安市、船橋市、千葉市、印西市です。

聞こえが悪くなると他者とのコミュニケーションが取りづらくなり、引きこもりの原因にもなりかねません。さらに交通事故の原因にもなります。また、厚生労働省では「難聴は認知症の危険因子」とも言われています。

しかし、補聴器を使っている方は18%、自覚していても使用していない方は38%とも言われています。「高くて買えない」という方が多いのではないのでしょうか。



市民からの請願が不採択に

八千代市でも補聴器助成を求める声が広がっています。9月議会に市民団体より「加齢性難聴者の補聴器購入に市の助成を求める請願」が提出されました。

しかし、福祉常任委員会でも本会議でも、不採択とした会派・議員は、一言も発言せず、黙って反対しました。

日本共産党は、採択されるよう積極的に討論を行いました。賛成者少数で不採択とされてしまいました。

予算額を超え、追加予算をした印西市

昨年、補聴器購入に助成制度を導入した印西市では、7月には予算額を超えての申請があり、12月に補正予算で追加対応したほどのことです。それだけ要望の声があったのです。八千代市でも同様に要望があります。

「市内在住者、65歳以上、障害者手帳を持っていない方※」というのが多くの自治体の条件であり、助成額は2万円から3万5千円と自治体によって違います。また、住民税が課税世帯か非課税世帯かによっても自治体に差がありますが、まずは高齢者の生活を支援する制度でもあることから、実施に向けて進めていくことが必要です。

日本共産党市議団は、今後も制度創設に向けて取り組んでいきます。

※障害者手帳を持っている方は、片耳の購入費は補助されます。